

令和7・8（2025-2026）年度複合構造委員会 第6回幹事会 議事録

日 時：令和8（2026）年3月6日（金）11:00～14:30

場 所：新東名高速道路河内川橋工事事務所，Web併用（Zoom）

出席者：大山委員長，北根副委員長，平幹事長，川端幹事，塩畑幹事，高橋幹事，内藤幹事，中田幹事，
中原幹事，中村幹事，橋本幹事，藤林幹事，藤原幹事，皆田幹事，山上幹事，山本幹事，横田幹事
（敬称略）（下線：オンライン参加，取消線：欠席）

配布資料：

- 幹6-0 令和7・8年度複合構造委員会第6回幹事会議事次第
- 幹6-1 令和7・8年度複合構造委員会第5回幹事会議事録（案）
- 幹6-2 令和7・8年度複合構造委員会幹事会業務分担
- 幹6-3 令和7・8年度複合構造委員会小委員会・WG一覧
- 幹6-4 メール審議事項の報告
- 幹6-5 令和7年度委員会予算執行状況
- 幹6-6 令和8年度全国大会共通セッションテーマについて（土木学会全国大会）
- 幹6-7 研究討論会の申し込みについて
- 幹6-8 企画について
- 幹6-9 複合構造委員会HPについて
- 幹6-10 シンポジウム小委員会(H001)
- 幹6-11-1 土木学会論文集特集号（複合構造）(H005)
- 幹6-11-2 土木学会論文集特集号予算について
- 幹6-12 複合構造の継続教育（H006）
- ~~幹6-13 300年暴露プロジェクト小委員会報告（H007）~~
- 幹6-14 出版関連報告
- ~~幹6-15 H111 カーボンニュートラルに向けた複合構造のあり方に関する研究小委員会~~
- 幹6-16-1 複合構造標準示方書適用検討小委員会（H153）
- 幹6-16-2 設立趣意書_複合構造標準示方書適用検討小委員会（H153）
- ~~幹6-17 H221 樹脂・FRP材料による複合技術研究小委員会~~
- 幹6-18 H222 複合構造におけるプレバブ・プレキャスト工法の活用に向けた研究小委員会
- ~~幹6-19 H223 弾性合成桁の設計に関する調査研究小委員会~~
- 幹6-20 H224 AIを活用した複合構造物のライフサイクルマネジメントの高度化に関する研究小委員会
- 幹6-21 親委員会（第3回以降）での報告・発表について
- 幹6-22 R7-8委員会の任期とその後の全体スケジュールについて
- 幹6-23 複合構造委員会小委員会一覧

議事内容：

1. 委員長挨拶

大山委員長より，開会の挨拶があった。

2. 複合構造委員会第5回幹事会議事録(案)確認(幹6-1)

皆田幹事より、第5回幹事会の議事録(案)の説明があり、以下を修正することで承認された。

- ・性能照査例を作成→性能照査例の作成
- ・2024 制定→2024 年制定
- ・合成床版をみる→合成床版を見る
- ・コンクリートを打込日→コンクリートの打込日

3. 令和7・8年度複合構造委員会幹事会業務分担(幹6-2, 幹6-3)

平幹事長より、令和7・8年度複合構造委員会幹事会業務分担について説明があった。

- ・資料6-2と6-3の赤字で示されている小委員会(H001, H153, H222)で幹事の追加・修正があった。

4. 審議, 報告事項(幹6-4)

平幹事長より、メール審議事項と報告事項について説明があった。

(1) メール審議事項報告

- ・シンポジウム小委員会(H001)の委員について、藤原幹事および横田幹事の追加が承認された。
- ・カーボンニュートラルに向けた複合構造のあり方に関する研究小委員会(H111)の委員について、畑明仁様(大成建設)の追加が承認された。
- ・小委員会設立について、複合構造標準示方書適用検討小委員会(準一種小委員会, H153)の設立が承認された。期間は令和8年度上半期から2年間で、委員長は北根先生(京都大学)、幹事長は池田学様(鉄道総合技術研究所)。

(2) 報告周知事項

<委員宛>

- ・現場見学会の案内について、2026年3月16日に新名神高速道路・高槻高架橋工事で実施予定と周知された。
- ・奥井先生(埼玉大学)および大垣先生(ものづくり大学)の退職記念行事について、2026年5月23日に講演会および祝賀会がさいたま市で実施するとの報告があった。
- ・令和8年度田中賞選考委員会「かけはし賞」への応募依頼に関して周知された。
- ・時代をデザインした土木人たちの選定について周知された。

<幹事会宛>

- ・令和8年度土木学会全国大会の共通セッションCS6複合構造物がテーマとして選定されたことが周知された。
- ・予算について、請求書・領収書は3月12日(木)までに岡崎様まで提出するよう周知された。
- ・令和8年度土木学会全国大会の研究討論会の企画案を幹事会宛に送付・審議いただいたが、特に意見はなく、原案で土木学会に提出したことが周知された。

5. 令和7年度委員会予算執行状況(幹6-5)

平幹事長より、令和7年度予算執行状況の報告があった。

- ・H222小委員会ではずみゲージの執行予定がある。
- ・その他、IABSE年会費の約3万円、幹事会(3月)の手土産代などの支出予定がある。
- ・残額は複合構造標準示方書を数冊購入する予定であり、執行は3月13日が締切りである。

6. 令和8年度全国大会・研究討論会について（幹6-6, 幹6-7）

平幹事長より、令和8年度全国大会・研究討論会について説明があった。

- ・共通セッション枠が選定されたとの報告があった。
- ・研究討論会については、複合構造技術の発展に関する調査研究小委員会(H109)の成果内容で申し込みをしたことが報告された。
- ・大山委員長より、参加者のターゲットを絞って内容やタイトルを考えるようにとの依頼があった。

7. 企画について（幹6-8）

(1) 現場見学会の実施について

藤林幹事より、現場見学会の実施について説明があった。

- ・現場見学は高槻高架橋東工区で3月16日（月）に開催。現状で13名の参加申し込みがあったことが報告された。

(2) 新規小委員会立ち上げ

藤林幹事より、新規小委員会のテーマ案について説明があった。

- ・秋田大学で木材と鋼材を取り扱った研究が行われており、複合構造委員会としての調査研究テーマに繋がるか問い合せて確認する。

8. 複合構造委員会 HP について（幹6-9）

横田幹事より、複合構造委員会 HP の更新状況について以下の報告があった。

- ・委員会議事録、幹事会議事録、および委員名簿の更新を行った。
- ・複合構造委員会20周年記念の資料も公開予定との記載を追加した。
- ・English site の Publications と Subcommittees を更新した。
- ・新しい小委員会（H224 や H153）の情報についても追加予定であることが確認された。

9. シンポジウム小委員会（H001）（幹6-10）

山本幹事より、シンポジウムの活動状況について報告があった。

- ・藤原幹事および横田幹事の小委員会への委員としての参加が報告された。
- ・来年度のシンポジウムの原稿募集を土木学会誌4月号へ掲載予定であること、また、3月中旬ウェブサイト公開予定との報告があった。
- ・実行WGを3月13日(金)に実施し特別講演者の検討などを行う予定。

10. 土木学会論文集特集号（複合構造）（H005）（幹6-11-1, 幹6-11-2）

大山委員長より、土木学会論文集特集号（複合構造）について報告があった。

- ・投稿論文の14編（論文7編、報告7編）すべてが修正判定で現在修正作業中である。
- ・展望論文（西崎到様）と小委員会報告（H101, H109, H220）は、形式査読が終了し、修正中である。
- ・予算（赤字などの補填）について、平幹事長より事務局に確認したところ、赤字が出た場合は、翌年の拡充支援金で調整しているとの報告があった。

11. 複合構造の継続教育（H006）（幹6-12）

中村幹事より、複合構造の継続教育の活動状況について報告があった。

- ・2026年度は複合構造セミナーを2回開催する予定で、3月24日に開催予定のセミナーWGでスケジュールや講義内容等を検討する。またeラーニングWGは教材動画を作成中との報告があった。
- ・「H111 カーボンニュートラルに向けた複合構造のあり方に関する講習会」の報告があった。アンケートの質問に対する回答はH111小委員会で検討すること。また、委員会でのアンケートをCPDSのアンケートと勘違いしている可能性があるとの報告があった。今後は注意喚起するなど対策が必要である。

12. 300年暴露プロジェクト（H007）（資料なし）

平幹事長より、特に動きがないとの報告があった。中村幹事より、FRPの暴露試験体は来年度に暴露を開始予定との補足があった。

13. 出版関連報告（幹6-14）

平幹事長より、出版物の販売状況について報告があった。

- ・各書籍の部数の確認があった。
- ・大山委員長より、複合標準示方書の売り上げが前回の示方書の時に比べ少ないのではという指摘があった。販売促進活動などの対策を考える必要がある。

14. 小委員会報告・審議事項

(1) H153：複合構造標準示方書適用検討小委員会（幹6-16-1, 幹6-16-2）

平幹事長より、性能評価例の作成やこれまで実施してきた150番台の活動成果調査などの実施をすることなど内容の説明があった。なお、資料に連絡幹事として池田学様の名前が記載されているが、これは間違いで連絡幹事は未定である。

(2) H221：樹脂・FRP材料による複合技術研究小委員会（資料なし）

橋本幹事より、3月中には1次原稿が完成する予定との報告があった。その後幹事会での査読があり、講習会は来年度の秋ごろになる。査読を担当する幹事は、資料：幹6-2の幹事会業務分担に示す通りである。

(3) H222：複合構造におけるプレハブ・プレキャスト工法の活用に向けた研究小委員会（幹6-18）

内藤幹事より、活動状況について報告があった。

- ・試験体の製作が終了し、今後4月～6月に東北大学で各1体ずつ載荷実験を実施する。1体目の載荷試験時は、東北大学ナノテラスの見学会を行う。載荷試験は幹事会にも見学案内をする。

(4) H223：弾性合成桁の設計に関する調査研究小委員会（資料なし）

山本幹事より、前回からの進捗は無いとの報告がされた。

(5) H224：AIを活用した複合構造物のライフサイクルマネジメントの高度化に関する研究小委員会（幹6-20）

中原幹事より、活動状況について報告があった。

- ・12月16日に第1回委員会を開催し、第2回を3月24日に開催予定。

15. その他

(1) 親委員会（第3回以降）での報告・発表について（幹6-21）

- ・平幹事長より、6月の第3回委員会ではH111カーボンニュートラルに向けた複合構造のあり方に関する研究小委員会の報告をしていただく方向で進める。

(2) 2026（R8）年度スケジュールについて（幹6-22）

- ・平幹事長より、2026(R8)年度の親委員会、幹事会の前半の日程を決める必要があるとの説明があり、以下のように決定した。

1) 第7回幹事会：5月15日（金）@鹿島建設本社（赤坂）

2) 第3回委員会：6月12日（金）@場所未定（四ツ谷の主婦会館プラザエフもしくは東京都立大学の丸の内サテライトキャンパス）

3) 第8回幹事会：7月17日（金）@土木学会A会議室

4) 第9回幹事会：9月2日（水）@土木学会全国大会札幌（鹿島建設北海道支店会議室）

(3) 委員長選挙の電子化について（資料なし）

- ・皆田幹事より、委員長選挙の電子化について報告があった。すでにWEB投票へ移行している委員会もあり、これにより投票用紙の郵送費を削減できる。ただし、委員長候補者選考細則では無記名投票が規定されているため、個人が特定されないWEB投票方式を採用するか、当該細則の見直しが必要である。

16. 閉会挨拶

- ・北根副委員長より、閉会の挨拶があった。

以上

（記録：橋本）